

## 第14回 JFS 性科学セミナー 「日本の性のデフレーション –克服への提案–」

■日時：9月14日（土）13時～16時30分

■会場：横浜市社会福祉センターホール 横浜市総合福祉センター4階  
（神奈川県横浜市中区桜木町1-1/JR・地下鉄 桜木町駅2分）

■参加費：3000円（学生1000円）

※同会場別室にて開催される WAS 性の健康デーイベントへの入場も可

9月14日	JFS 性科学セミナー	3000円（学生1000円）
9月14日	WSHD 記念イベント	無料
9月15日	日本性科学会（JSSS）	5000円（学生1000円）
9月14～15日	JFS+JSSS（+WSHD）	7000円（学生2000円）
9月14日	懇親会：	3000円（学生2000円）

### ■プログラム

13:00～13:10 開会挨拶 日本性科学連合会長 大川 玲子

[講演] 座長：今井 伸

13:10～13:35 ①「性行動の国際比較と日本人の射精頻度」 永尾 光一  
(東邦大学医学部泌尿器科学講座)

13:35～14:00 ②「性感染症におけるパートナー検査の現状と課題」 堀 成美  
(国立国際医療研究センター 国際感染症センター)

14:00～14:25 ③「若年女性の性行動からみた STI の実態」 今井 博久  
(国立保健医療科学院 技術評価分野 統括研究官)

14:25～14:45 休憩 (20分)

[講演] 座長：大石 時子

14:45～15:10 ④「中高年のセクシュアリティ ～2回の調査から」 荒木 乳根子  
(元田園調布学園大学教授)

15:10～15:35 ⑤「消極化する高校生・大学生の性行動と結婚意識」 渡辺 裕子  
(駿河台大学経済学部教授)

15:35～16:00 ⑥「商品化される子どもたちの性」 金子 由美子  
(日本思春期学会理事・『季刊セクシュアリティ』編集長・公立中学校養護教諭)

16:00～16:30 全体ディスカッション (30分)